

# 日系社会シニア・ボランティア 平成23年度秋要請集

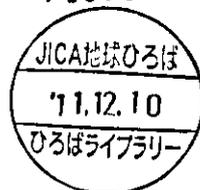
平成23年10月

《閲覧資料》  
持出禁止

独立行政法人国際協力機構  
青年海外協力隊事務局

J/3339  
SE  
23-2

15366



## 日系社会シニア・ボランティア 平成23年度秋募集 要請集

職 種		国 名	要請番号	ページ
5202	保健師	ボリビア	30611H02	1
5202	保健師	ボリビア	30611H03	2
5404	ソーシャルワーカー	ブラジル	30911H04	3
5404	ソーシャルワーカー	ブラジル	30911H06	4
5404	ソーシャルワーカー	ブラジル	30911H11	5
5404	ソーシャルワーカー	ブラジル	30911H12	6
5407	栄養士	ブラジル	30911H13	7
6656	文化	ブラジル	30911H15	8
6851	日系日本語学校教師	ボリビア	30611H01	9
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H01	10
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H02	11
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H03	12
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H07	13
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H08	14
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H10	15
6851	日系日本語学校教師	ブラジル	30911H14	16
6851	日系日本語学校教師	アルゼンチン	30311H01	17
7501	ソフトボール	ブラジル	30911H05	18
7501	ソフトボール	ブラジル	30911H09	19
7702	空手道	コロンビア	31511H01	20

この要請集は平成23年8月末までの各国からの要請を取りまとめたものです。受入国の事情により、募集から選考までの期間に、要請の追加、変更、取消が行われることもあります。追加・変更・取消要請に関する情報については、JICAボランティアウェブサイトをご覧ください。



<http://www.jocv-info.jica.go.jp/nsv/>

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 7 月 11 日

要請番号( NS 306 - 11- H- 02 )

調査者名: 佐藤やよい

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボリビア	職種 保健師 (コード 5202 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	指導科目 保健福祉			2	/
	職種(英) Public Health Nursing 指導科目(英) Health Welfare			3	/

開発課題 ボリビア その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 保健スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Health and Sports
	2) 配属先名 (日本語) NGOオキナワ日本ボリビア協会 (英語) Bolivian and Japanese Association of Okinawa
	3) 任地 サンタクルス県オキナワ市 首都( )から 南東 方向 800 Km 主要都市( サンタクルス市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) オキナワ日系移住地において診療所の運営、学校運営、高齢者福祉対策事業、道路維持管理等を行う日系団体。総務部、土木部、社会教育部、学校教育部、診療部及び福祉部の6部門からなり、現在JICAボランティア(保健師)1名が派遣され診療部と福祉部で活動中。診療部では住民検診、健康相談、リハビリ体操等、福祉部ではデイサービス、配食サービス、介護教室、ボランティア養成講座等を行っている。年間予算は約70万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では2010年に福祉部を新設し、高齢者・保健福祉事業の強化を図っている。前任者は、基礎資料の統計整理、各種検診の実施と事後指導、住民ボランティア・在宅看護職の人材育成、リハビリ体操・デイサービスの促進を支援し、福祉担当者への技術移転も進んでいる。しかしながら、移住地における保健福祉事業の維持・向上のためには、これらの活動を定着させ、事業計画・実施・評価・見直しのサイクルでの福祉事業が実施できるよう更なる支援が求められている。また、現在ホームヘルパーの育成を計画しており、JICAボランティアには人材育成も含めたホームヘルプサービス事業導入への支援も期待されている。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の診療部・福祉部において、同僚のスタッフと日常的な協働作業を行いつつ、以下の活動を行う。 1. 住民ボランティア、在宅看護職等の人材育成とその活用促進を支援する。 2. 高齢者福祉事業計画の立案、及び事業評価を支援する。 3. ホームヘルパー育成研修を含むホームヘルプサービス事業導入への支援・アドバイスを行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務機器、医療器具類(血圧計・体脂肪計等)、リハビリ用具(平行棒・体操マット、ダンベル等)、デイサービス用具(ビーチボール、パークゴルフセット等)

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 福祉担当(女性、50代)、看護師長(女性、50代) その他診療所スタッフ: 医師4名、看護師6名、検査技師2名、薬剤師1名、事務長1名、会計1名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(実務経験)(10年以上) 経験理由: 活動遂行上必要なため 理由: 活動遂行上必要なため 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(10~35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 11 日

要請番号( NS 306 - 11 - H - 03 )

調査者名: 佐藤やよい

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 保健師 (コード 5202 )	○新規 ●交替 7 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 保健福祉			1	/	24 年 6 月 から
	職種(英) Public Health Nursing 指導科目(英) Health Welfare			2	/	
			3	/		

開発課題 ボリビア その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 保健スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Health and Sports
	2) 配属先名 (日本語) NGO サンファン日本ボリビア協会 (英語) Bolivian and Japanese Association of San Juan
	3) 任地 サンタクルス県サンファン市 首都( ラパス市 )から 南東 方向 850 Km 主要都市( サンタクルス市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンファン日系移住地において学校運営、診療所運営、ガソリンスタンド運営、道路維持管理等を行う日系団体。ボランティアの活動拠点となる診療所は、ベッド数24床、内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・歯科を備え、非日系人の利用も多く地域医療の中心的な役割を担っている。同診療所にはこれまでに保健師、看護師、臨床検査技師、社会福祉士のJICAボランティアが派遣されている。年間予算は約84万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同移住地では65歳以上の高齢者が日系人人口の26%を占め、高齢者問題が顕在化している。これまで派遣された保健師・社会福祉士のJICAボランティアにより、自立支援・介護予防事業の推進、福祉サービスの充実と住民ボランティアの育成が図られ、福祉事業への住民参加も増えて地域福祉活動の基盤が形成されつつある。現在、配属先では、介護予防の推進と住民の健康・生きがいつくりの拠点となる保健福祉センターの建設計画を進めており、同センターの企画・運営を支援できる人材が求められている。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先が運営する診療所において、同僚のスタッフと日常的な協働作業を行いつつ、以下の活動を行う。 1. 高齢者の健康づくりに向けた総合的な疾病管理施策の推進を支援する。 2. 住民を対象にした介護予防教室の実施など、介護予防対策の推進を支援する。 3. 新設される保健福祉センターにおいて各種プログラムの企画・実施、及びセンターの運営を支援する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、デイスサービス・パワーリハビリ用具(スポーツ用具、楽器、バランスボール、パワーリハビリテーション機器3台、車椅子等)

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 診療所スタッフ: 保健師1名、医師4名、看護師4名、准看護師4名、検査技師2名、薬剤師1名、事務員5名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(実務経験)(15年以上) 経験理由: 活動遂行上必要なため 理由: 活動遂行上必要なため 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温( 10~35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
----------	--

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 04 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 ソーシャルワーカー (コード 5404 )	○新規 ●交替 5 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目 レクリエーション指導			2	/	24 年 6 月 から
	職種(英) Social Work 指導科目(英) Recreation			3	/	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ブラジル日系老人クラブ連合会 (受入機関名)(英語) Federation of Brazilian Nikkei Old Club
	2) 配属先名 (日本語) NGO ブラジル日系老人クラブ連合会 (英語) Federation of Brazilian Nikkei Old Club
	3) 任地 サンパウロ州サンパウロ市 首都( ブラジリア )から 南西 方向 1100 Km 主要都市( サンパウロ市 )までの交通手段及び所要時間( で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンパウロ州を中心とする周辺4州に49の支部を持つ日系老人クラブを統括する団体。現在の会員数は約3,000名。老人クラブ大会、芸能祭、老人週間、ゲートボール大会などを開催。また、機関紙を発行し、高齢者向け福祉サービスも提供している。各支部に対しては、健康に関する講話及びレクリエーションの講師を派遣している。年間予算: 約26.3万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 連合会本部では、支部における活動活性化のため講師を派遣しているが、指導内容が単調化している。シニアボランティアには、日本の新しいレクリエーション技術を導入するとともにレクリエーション指導者育成のための支援が期待されている。また、地域社会支援の一環として青少年更生といった非日系団体などでの活動も期待される。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 高齢者(主に日系一世、日本語話者)を対象とする体操・ゲーム・歌を紹介・導入する。 2. 地方支部(49支部)へ巡回出張し、レクリエーションの実技を行うとともに、レクリエーション指導者育成に協力する。 3. 高齢者の心身の健康と生きがい作りなどについて講演する。 4. 要請があれば、非日系を対象とするNPO法人、青少年更生NGO、デイサービスなどでレクリエーションを実施する。 5. 可能であれば老人クラブの運営に対する助言と協力を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン(DELL Windows XP)、コピー機(EPSON)、デジタルカメラ(CANON)、視覚機材、キーボード(楽器: YAMAHA)、ラジカセ、机、椅子等

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 本部職員5名(日本人、日系人共に日本語会話可)、専門インストラクター9名(日本語会話可)各支部役員(日本語会話可)指導の際に使用する言語は日本語。会員の平均年齢は78歳。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語 )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(指導経験)( ) 経験理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯 ) 気温( 10-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 06 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 ソーシャルワーカー (コード 5404 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 年 6 月 から
	指導科目 介護福祉士			2	
	職種(英) Social Work 指導科目(英) Care worker			3	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) サンパウロ日伯援護協会 (受入機関名)(英語) Beneficiary Association for Japan-Brazil in Sao Paulo
	2) 配属先名 (日本語) NGO 養護老人ホーム カンボス・さくらホーム (英語) Sakura Home
	3) 任地 サンパウロ州カンボスドジョルダン市 首都( ブラジリア )から 南 方向 1000 Km 主要都市( サンパウロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1959年に設立され、サンパウロ州を中心に日系人の福祉・医療事業を実施する日系福祉団体の代表格。現在、本協会傘下の4福祉施設においてJICAボランティアが活動中。カンボス・さくらホームは保養地として知られるカンボスドジョルダン市に位置し、施設には65歳以上の健常者、身体障害者、認知症の方が入居している。2001年に青年ボランティア1名を派遣している。受入機関全体の年間予算:約1億2800万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブラジルにおいては介護福祉に関する専門学校や教育機関は無く、大半の介護職員や准看護職員は勤務施設内での経験のみである。そのため、入居者と職員に対し、介護理論、技術面だけでなく福祉的な考えなどを導入し、指導できるボランティアの要請に至った。また、入居者の大半が日本語話者であるため、入居者への心の安らぎを与えるためにも積極的にコミュニケーションを取ることも求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日々の介護あるいは講演会を通じて介護技術の導入と職員への教育を担当する。 2. 入居者に対し日本語による対応と話しかけを行う。 3. ホーム内の各種行事、レクリエーション、対外行事などへの企画・立案・実行。 4. 福祉士、看護師、栄養士などと連携を取りながら介護技術普及と老人問題の提起、意見交換を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 習字道具 など	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 入居者38名(日系人33名、平均年齢85歳、障害軽度16名・中度5名・重度17名)、配属先職員数24名(ホーム長、医師、看護師長、准看護師、理学療法士など)、カウンターパート:看護師及び准看護師	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語) ( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由: 職員も指導する必要があるため ・介護福祉士 理由: 養護老人施設で活動するため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(温帯) 気温( 10-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ○SV ●EJV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 5 月 30 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 11 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 ソーシャルワーカー 指導科目 介護福祉士 (コード 5404 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	JOCV/SV	日系/短期等 24年6月 から
	職種(英) Social Work 指導科目(英) Care Worker			2	/	
				3	/	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) サンパウロ日伯援護協会 (受入機関名)(英語) Beneficiency Association for Japan-Brazil in Sao Paulo
	2) 配属先名 (日本語) NGO 養護老人ホーム スザノ・イッペランジャホーム (英語) Suzano Ipelandia Home
	3) 任地 サンパウロ州スザノ市 首都( ブラジリア )から 南 方向 1000 Km 主要都市( サンパウロ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日伯援護協会は1959年に設立され、福祉部門でサンパウロ州を中心に7施設を運営し、医療部門で病院運営や、日系集団での巡回診療を行っている。協会は今までにJICAから30名以上のボランティアを受け入れており、現在も傘下の4福祉施設において活動中である。年間予算は約1億2800万米ドル。「イッペランジャホーム」は郊外の自然豊かな環境にあり、65歳以上の高齢者が入居している(健康者と軽度障がい者が同居)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブラジルにおいては介護福祉に関する専門学校や教育機関は無く、大半の介護職員や准看護職員は勤務施設内での経験のみである。そのため、介護福祉専門家としての立場で現場職員を指導できるボランティアの必要性は高く、今後もホームでは特に認知症の入居者が増加すると予想されているため、後任が要請されることになった。各種行事やレクリエーションの場でも、ボランティアが活躍し実績を上げていると評価されている。また、日本語による会話は多くの入居者の心の安らぎとなっているため、積極的なコミュニケーションが望まれている。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 施設の専門家と協力し、日々の介護あるいは講習会を通じて介護職員への教育を担当する。 2. 入居者に対し日本語による対応と話しかけを行う。 3. ホーム内の各種行事、レクリエーション、対外行事を企画・実行し、入所者のQOL向上に協力する。 4. 福祉士、看護師、栄養士などと連携を取りながら介護技術の向上に必要なことを行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、FAX、視聴覚機器(テレビ、ビデオ、DVD)、デジタルカメラ、キーボード、バンドベルなど

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 職員数22名(ホーム長、理学療法士、作業療法士、看護師など)、契約医師1名、大卒自由契約専門家5名 入居者32名(男性7名、女性25名、主に日本語を母国語とする一世と二世、平均年齢85歳、約3割が認知症)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語)	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	---	---	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(実務経験)(5年以上) 経験理由: 職員を指導する必要があるため ・介護福祉士 理由: 養護老人施設で活動するため 理由:
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

概 地 況 域	* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
	気候(亜熱帯) 気温( 5-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 5 月 30 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 12 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 ソーシャルワーカー (コード 5404 )	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/
	指導科目 レクリエーション指導			2	/
	職種(英) Social Work 指導科目(英) Recreation			3	/
24 年 6 月 から					

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アマゾン日伯援護協会 (受入機関名)(英語) Beneficiency Association for Japan-Brazil in Amazonia
	2) 配属先名 (日本語) NGO 厚生ホーム (英語) Social Rehabilitation Center
	3) 任地 パラ州ベレン市 首都( ブラジリア )から 北 方向 2100 Km 主要都市( ベレン市内 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同協会は国籍、宗教、人種の差別なく、物心両面の援助を必要とする人々に対して福祉事業を行うことを目的に設立された。主な事業内容は病院経営(職員約270名)、医療保険経営などであり、年間事業予算は約1,765万米ドル。JICAからはボランティア受入以外にも、助成金の交付を受けている。高齢者施設である厚生ホームの入居者は現在15名で、14名が日本語を話す。平均年齢は84歳。職員は21名。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) これまでに派遣された日系社会シニア・ボランティアの活躍により、厚生ホーム職員の介護技術には一定レベルの向上が見られている。ただし、入居者の生活の質を高めるために、レクリエーションの幅を広げることが求められている中、ブラジルにはレクリエーションワーカーという職種は無く、職員にレクリエーションの技術や理論を十分に指導できる人材はいない。前任ボランティアは入居者のニーズに合わせたレクリエーション、体操などを導入し、生きがいのある生活をもたらしたと評価された。今後はホームの職員が自立して入居者のレクリエーションを実施できるようになることを目標に、後任ボランティアが要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 施設職員へのレクリエーション、体操の指導と講習会の実施、室内飾り付け・バザー用品製作等の指導。 (講習会は月1回程度、指導は随時) 2. 入居者とのレクリエーション、体操(月から金、午前と午後各2時間程度)の実施。 3. 入居者の介護、身体ニーズに合わせた各種レクリエーション、体操プログラムと指導要領の作成。 (日本語・ポルトガル語)(視力、聴力障害用、その他) 4. パラ老人クラブ、各地日伯協会等へのレクリエーション・体操指導、講習会の開催。(月1回程度) 5. 奥地巡回診療(年4か所、延べ8日間程度)に同行し、レクリエーション、体操講座を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、音響装置、電子オルガン、ボール類、楽器、テレビなど。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 寮父1名(48歳、ブラジル人)、寮母8名(29~62歳、ブラジル人6名、日系人2名)が指導対象。介護技術はほぼ習得しており、レクリエーションも助手としての役割を果たすことができる。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語)	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	---	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験( ) ( ) 経験理由: ・レクリエーションワーカー(レク指導者講習受講者) 理由: 理由:
------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯 ) 気温( 10-40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
------	--

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 13 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目 (コード 5407 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 栄養士	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/	24年6月 から
	指導科目 栄養士			2	/	
	職種(英) Nutrition 指導科目(英) Nutrition			3	/	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 社会福祉法人こどものその (受入機関名)(英語) Kodomo-no-Sono
	2) 配属先名 (日本語) NGO社会福祉法人こどものその (英語) Kodomo-no-Sono
	3) 任地 サンパウロ州サンパウロ市 首都( ブラジリア )から 南 方向 1,000 Km 主要都市( サンパウロ市中心部 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1958年に創立された日系関連団体最初の知的障がい児収容施設である。現在は18歳~72歳の入所者85名を障がいの程度が別なく受け入れている(現在は、知的障がい者のみ)。職員数は47名。更生・授産施設(入所型)では、養鶏、堆肥、リサイクル、陶芸、手芸などの作業を行っている。JICAはこれまで日系社会シニア・ボランティアを4名派遣した実績がある。年間事業予算約160万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICA日系社会シニア・ボランティアは福祉分野から見た職業指導の充実に取り組み、2代続けての派遣で職員への指導に一定の成果を上げることができた。一方、「こどものその」との名称にも拘らず入所者の高齢化問題が顕著になってきている。この問題に対し、どのような面からのボランティアの協力が有効であるかを受入機関で検討した結果、栄養士の要請が提出された。施設では、入居者及び職員の食事をすべて施設内で調理し、食事を提供している。高齢者向けのメニュー作成のみならず糖尿病や高血圧などの症状をもつ入居者に合わせた食事を提供できるようになることも期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 調理場職員に対し、以下の指導を行う。 ・高齢、糖尿病、高血圧など、入居者の状態・必要性に合わせたメニューの作成。 ・材料の有効活用とその調理方法、衛生管理など。 2. 施設の各種行事に参加、協力する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 大型冷蔵庫、大型レンジ、ガスオープン、電気オープン(パン専用)など	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 調理場係長(女性、60歳代、日系人、日本語可) 調理場職員は他に7名(女性、ポルトガル語) うち1名は栄養士になるため勉強中(23歳)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語 )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(実務経験)(10年以上) 経験理由: ・栄養士 理由: 専門知識を用いての指導が必要なため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温( 5-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
------	---

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 15 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 15 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 文化 (コード 6656 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 箏指導			1	/	24 年 6 月 から
	職種(英) Culture 指導科目(英) Koto Instructor			2	/	
			3	/		

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 汎アマゾン日伯協会 (受入機関名)(英語) Pan Amazonia Japan-Brazil Association
	2) 配属先名 (日本語) NGOベレン等の会 (英語) Koto Society
	3) 任地 パラ州ベレン市 首都( ブラジリア )から 北 方向 2100 Km 主要都市( ベレン市内 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ブラジル北部及び東北部間の親睦を深めるための文化交流や日本文化普及、日本語教育の振興を行なっている。具体的には日本語会話教室、新年祝賀会、日本舞踊講習などを実施。JICA日本語学校生徒研修の北伯地域における募集を取りまとめているブラジル北部の中核機関でもある。年間事業予算380千米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 汎アマゾン日伯協会傘下にある「ベレン等の会」は1986年に発足し、今年で24年を迎える。イベントなどで演奏の機会があり、箏は日系社会のみならずブラジル社会でも日本の伝統文化として同地域に親しまれつつある。しかし、師範不足に悩まされており、3,100キロ離れたサンパウロ市から師範の出張を依頼している状況である。今後、演奏者が上達することで、箏の魅力がブラジル国内に一層広まることが期待される。ブラジルに根付いた日本人/日系人の伝統文化として広くブラジルの中で普及・浸透し、更なる日伯友好を深めるためにも、ボランティアを要請するに至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 初心者から中級者に対して新曲や古曲の演奏の指導をする(週5日)。 2. 演奏会でのプログラムの作成や舞台の配置決めを指導する。 3. 同地域の日本語学校へ箏の出張稽古指導をする。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 箏13面、譜面台13台、立箏台12台、毛氈、箏の楽譜(新曲、古曲)、爪は生田流の角爪を使用。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 事務局長1名(男性、50歳代) 指導対象者: 約10名 (全員日本人又は日系人女性。演奏レベルは初心者から中級者まで)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語 )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (V^M: ) <input type="checkbox"/> (V^M: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許( )	・性別( )	性別理由:
	・学歴( )	( )	学歴理由:
	・経験 (実務経験 )	(10年以上 )	経験理由: 師範免許を取るのに10年くらいかかるため 理由: 中級者にも指導するには師範レベルが必要 理由:
	・師範免許		

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(熱帯 )	気温( 25-35℃位)	電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
況域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)		水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 7 月 11 日

要請番号( NS 306 - 11- H- 01 )

調査者名: 佐藤やよい

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language			1	/	24年6月 から
				2	/	
			3	/		

開発課題 ボリビア その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) NGO ボリビア日系協会連合会 (英語) Bolivian and Japanese Association of National Federation
	3) 任地 サンタクルス県サンフアン市 首都( ラパス市 )から 南東 方向 850 Km 主要都市( サンタクルス市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボリビア国内日系団体の連合体組織で、各日系団体との連絡調整、学生寮運営、大学生奨学金の運用、日系社会発展のための取り組み、及び日本・ボリビア間の交流促進などを行っている。これまで、団体事務、体育教師、企画・運営、業務調整、視聴覚教育のJICAボランティアが派遣されており、現在は日本語教育のボランティア1名が活動中である。年間予算は約3万7千米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の日系人移住地では、世代交代により家庭内で日本語を使用する頻度が減っている。日系子弟への継承日本語教育を行う日本語学校においても日本語を母語としない生徒や若手の2世教師が増えており、これまでの国語教育から日本語教育への移行が必要となっている。そのため、国語教育と日本語教育の両方の知識・経験を持つ人材が求められている。前任者は、日本語教授法を用いた指導の導入と日本語教師養成講座の開設を進めている。ボランティアは、サンフアン移住地を拠点として、サンタクルス県内の日本語学校4校において巡回指導や打ち合わせ(隔月2日程度×4校)を行っている。	
	2) 期待される具体的業務内容 サンフアン移住地を拠点として、指導対象校4校(サンフアン移住地1校、オキナワ移住地2校、サンタクルス市内1校)において、以下の活動を行う。 1. 各学校を巡回し、各学校のニーズに合わせた教授法の指導と教材開発の支援を行うとともに、各教師の相談に対しアドバイスを行う。 2. 年3回(各回1~2日間)実施される日本語教師研修会において指導する。 3. 日本語教師養成講座(週末×数ヶ月または1~2週間の集中講座を計画中)を実施するとともに、指導講師を育成する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各学校が所有するパソコン、プロジェクター、コピー機、各種教材	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 活動対象4校の学校長及び日本語科主任 指導対象者: 日本語教師30名、20~60代、指導経験1~45年	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( ) ( )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許(小学校教諭 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(実務経験 ) (10年以上 ) 経験理由: 活動遂行上必要なため ・日本語教授法 理由: 活動遂行上必要なため ・日本語教師への指導経験、10年 理由: 日本語教師に指導・助言するため	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯 ) 気温( 10~35℃位)	電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)	水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 01 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 6代目	●2年	1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language		○1年	2	/
			○ヶ月	3	/
24年6月 から					
開発課題 ブラジル その他 開発課題					

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) マリンガ地区日本語学校連合会 (受入機関名)(英語) Japanese Language School Association in Maringa
	2) 配属先名 (日本語) (NGO) マリンガ地区日本語学校連合会 (英語) Japanese Language School Association in Maringa
	3) 任地 パラナ州マリンガ市 首都( ブラジリア )から 南西 方向 1500 Km 主要都市( クリチバ市 )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マリンガ地区の日本語教育推進を目的に創立された日系団体で、現在13校を対象としたリーダー育成会、マリンガ地区日本語教師研修会、学習発表会、研修旅行、林間学校、習字教室、幼少年マリンガ地区お話大会、体育祭等を主催している。年間予算：約24千米ドル。JICAはこれまでに日系社会シニア・ボランティアを5名派遣した実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語教育に熱心な地域で日本語レベルも高く、二世以降の世代の育成に力を入れているものの、出稼ぎによる現 地教師不足も問題となっており、世代交代が進んでいることから、日系社会シニア・ボランティアの継続した指 導・助言を求めている。前任者は巡回先で教師を集めて勉強会や話し合いの他、「よさこいソーラン」や折り紙や習 字などの活動も行なっている。5代のボランティアが教師の育成、周辺校への巡回指導、日本文化普及活動などを 行ったことにより、教師が正しい日本語を指導できるようになったほか、生徒、父兄の日本語教育への関心が高 まった。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 毎週土曜日に行われる教師勉強会において、現地教師の指導および助言を行う。 2. 連合会所属校を巡回し、現地教師の日本語教授技術向上のための指導を行う。 3. 連合会主催行事(お話大会、作文コンクール、学習発表会、林間学校等)に協力する。 4. ボランティアの得意分野を活かし、音楽、楽器、習字、ダンスなどを指導する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、コピー機、各種日本語教材、机、椅子、電話 など	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 連合会所属校14校、生徒数約300名(2歳~16歳)。 教師25名(女性が9割以上、30歳~50歳台の教師が8割、経験 5年~15年) 役員：会長1名、副会長5名、	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語 )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験( ) ( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: ・小学校での指導経験 理由: 対象が子供のため	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯 ) 気温( 10-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●EJV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 02 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 8 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language			2	/
				3	/
24年6月 から					

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) パラナ日伯文化連合会 (受入機関名)(英語) Parana Japan-Brazil Culture Alliance
	2) 配属先名 (日本語) NGO)パラナ日本語教育センター (英語) Parana Japanese Language Study Center
	3) 任地 パラナ州ロンドリーナ市 首都( ブラジリア )から 南西 方向 1400 Km 主要都市( クリチバ市 )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パラナ日伯文化連合会はパラナ州の主要日系団体の連合体であり、主に日本語教育の充実と継承のための日本語学校を運営し、日本語教育の中心としての機能を果たしている。また、高齢者福祉事業や巡回診療事業なども行っている。その他、青少年の健全な育成のためのスポーツ大会や盆踊りなどの文化行事も積極的に実施している。年間予算約35万米ドル。JICAはこれまでに日系社会シニア・ボランティアを7名派遣した実績がある。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教師の高齢化が急速に進んでいるため、若手の教師の日本語能力及び指導力を養成することが急務である。こうした状況を踏まえ、現地教師に対する指導法の能力向上、特に、授業バリエーションやパターン、展開手法、子供の注意を引くためのアドバイスなど、教師の「教えること」への能力を伸ばす支援を必要としており、日系社会シニア・ボランティアが継続的に要請されることとなった。また、パラナ州全域の教師を対象とした研修会の企画も求められている。今までのボランティアが定期勉強会や巡回指導を実施した結果、生徒及び教師の意欲向上に貢献したほか、作文での技術力や表現力が向上した。
	2) 期待される具体的業務内容 カウンターパートと協力して以下の活動を行う。 1. パラナ北部(ロンドリーナ地区)の日本語学校に対する巡回指導(児童への情操教育指導も含む)及び教師への勉強会を行う。(モデル授業など) 2. 年間行事、イベント、研修会等の企画、運営に助言を行う。 3. 若手教師養成講座(月2回土曜日)を実施する。(学習者の指導計画の作成についての指導など)
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、事務室、各種日本語教材(みんなの日本語、基礎日本語、中級読解日本語、絵カード)など

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル モデル校教師7名:(校長は日本語能力試験1級取得者女性、経験10年以上2名、3年~5年5名) 巡回校数:22校、巡回校の教師数:合計約50名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語) ( )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	---	---	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験( ) ( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: ・小学校での指導経験 理由: 対象が子供のため
------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温( 10-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 03 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 10代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24年6月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language			2	
				3	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ノロエステ日本語普及会 (受入機関名)(英語) Society for Diffusion of Japanese Language in Noroeste
	2) 配属先名 (日本語) (NGO) アラサツバ日本語普及センター (日本語モデル校) (英語) Aracatuba Japanese Language Model School
	3) 任地 サンパウロ州アラサツバ市 首都( ブラジリア )から 南西 方向 855 Km 主要都市( サンパウロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンパウロ州北西部(ノロエステ)における日本語普及統括機関。現在ノロエステ地区には日本語学校14校(現地教師約25名)が所属している。日本語普及を目的として、日本語教育に関する情報交換、教師会・教師研修会を開催する他、同地区日本語学校の交流のために、お話発表会、学習発表会、林間学校等を主催している。年間予算:約4千米ドル。JICAはこれまでに日系社会シニア・ボランティアを9名派遣した実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ノロエステ地区日本語学校においては、現地教師の世代交代が進み、現地教師の多くは二世・三世である。現地教師の日本語能力および日本語教授技術の向上のために、継続した日系社会シニア・ボランティアによる指導を要請している。前任ボランティアは、日本語普及会と協力しながら地方校を中心に授業指導の定期巡回を行ったほか、会話クラスを担当した。今までのボランティアが経験の浅い教師を対象に個別指導を重ねた結果、教授能力向上に貢献した。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. モデル校及び巡回地域の日本語学校13校において、現地教師の日本語教授技術及び日本語力向上のための支援を行う。 2. 教師研修会を企画し、自らの講義を含め実施する。 3. お話発表会、林間学校などの学校行事に参加・協力する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン(日本語環境)、コピー機、プリンター、FAX、各種日本語教材	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル モデル校: コーディネータ(女性、三世、日本語能力試験1級)常勤講師3名、生徒数64名 指導対象者: 周辺地域日本語教師会約25名(二世~四世、20代~60代、日本語能力試験1級~4級)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語 )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(指導経験)(2年以上) 経験理由: 若い現地教師を指導するため ・日本語教授法 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(亜熱帯) 気温( 10-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 域城 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 07 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目	区分・ (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 8 代目	●2 年	1	/	24 年 6 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language		○1 年	2	/	
			○ヶ月	3	/	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟 (受入機関名)(英語) Culture & Sports Association for Japan-Brazil in Rio de Janeiro State
	2)配属先名 (日本語) NGO)リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟 (英語) Culture & Sports Association for Japan-Brazil in Rio de Janeiro State
	3)任地 リオデジャネイロ州 首都( ブラジリア )から 南西 方向 1150 Km 主要都市( リオデジャネイロ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟は、1都5州(ブラジリア、リオ、ミナスジェライス、エスピリトサント、ゴイアス)を管轄し、リオ日本語モデル校を始めとする日系団体の日本語教育活動を支援している。また、日系人のみならず地域の非日系人に対して、日本語教育や文化活動を行っている。JICAは日系社会ボランティア(青年、シニア)の派遣以外に助成金も交付している。年間予算6万3千米ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟が運営する日本語学校は、地域のモデル校としての機能を有している。ただし、巨大都市のひとつであるリオデジャネイロでは日系人の人口比率が低く、日本語や日本文化を大学で学んだ非日系人教師の割合も高い。そのため、日本語の背景にある日本文化などには精通していない場合が多く、日本文化に造詣の深い指導者が望まれている。この点で前任ボランティアは、書道や折り紙なども指導している。また、日系社会の世代交代に伴い、新人教師育成が必要となっている。巡回指導では新しい教授法や教材を地方校教師に紹介し、日本語教授技術のレベルアップを図ることも期待されている。
	2)期待される具体的業務内容 1. リオデジャネイロ州内の日本語学校10校を巡回し、勉強会での講義、新人教師育成指導、運営面でのアドバイスなどを実施する。 2. モデル校の現地教師の発表会の指導(発表内容の検討、プレゼン指導など)をサポートする。 3. ミナスジェライス州、エスピリトサント州における定期勉強会(年1~2回)での講義を行う。 4. 1都5州日本語教師合同研修会で講義を担当する。 5. 書道、折り紙などの日本文化指導に協力する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、コピー機、ファクスなど

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟の下部組織である日本語普及会会員の日本語教師20名(日本語教師経験半年~25年、日本語能力試験1、2級) 半数は大卒	5)業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語)	6)選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	研修等	形態	現職教員特別参加制度
・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(実務経験)(5年以上) 経験理由: 経験豊富な教師も指導対象に含まれるため ・日本語教授法 理由: 理由:		N	

活動用交通手段の必要性  
有 無 車輦 単車 自転車

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温( 5-35℃位) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )
----------	---

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 15 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 08 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 5 代目	●2年	1	/	24年6月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language		○1年	2	/	
			○ヶ月	3	/	
開発課題 ブラジル その他 開発課題						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 北伯日本語普及センター (受入機関名)(英語) Japanese Language Promotion Center in Northern Brazil					
	2) 配属先名 (日本語) (NGO) 北伯日本語普及センター (英語) Japanese Language Promotion Center in Northern Brazil					
	3) 任地 パラ州ベレン市 首都( ブラジリア )から 北 方向 2100 Km 主要都市( ベレン市内 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 北伯日本語普及センターは、ブラジル北部地域(パラ州、マラニョン州、アマパ州、 Rondônia州、アマゾン州、ピアウイ州)に点在する学校を対象とした日本語教師研修の企画・運営、教材開発、教育機関情報の提供および各学校への巡回指導を行っている。また、同センターは独自の日本語教師養成講座を立ち上げた先駆者的存在である。JICAはこれまでに日系社会シニア・ボランティアを4名派遣した実績がある。年間予算約6万米ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 北伯地域では、一世の日本語教師の高齢化が顕著である。同センターでは、日本語教師を指導する講師を独自に任命している。一世の講師を中心として各種研修会を実施しているが、今後は一世だけに頼らない研修会等の実施を促進せねばならず、講師となる人材を養成する必要がある。前任ボランティアの指導により、各種研修会・勉強会の講師指導力の向上が見られたが、今後さらに継続して講師を育てていく必要性が高いため、後年の要請がなされた。また、独自の日本語教師養成講座を2006年に立ち上げたが、安定した運営がなされていくための支援も期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. ブラジル北部地域(パラ州、マラニョン州、アマパ州など)に点在する会員校を巡回し、現地教師の日本語教授技術の向上を図る。 2. 講師養成のための研修会や勉強会の企画・運営に協力する。 3. 研修会や勉強会において、講師として一部の講義を受け持つ。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン2台(OS Windows XP、Vista)、デジタルビデオカメラ、テレビ、ビデオ、小型テープレコーダー、DVD、日本語教育関係教材など					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 北伯センター事務(日本人女性1名) 指導対象者: 地域内日本語教師 一世18名、二・三世16名、非日系4名(日本語能力試験3級以上)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語)		6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (V・L: ) <input type="checkbox"/> (V・L: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(指導経験)(3年以上) 経験理由: 指導者層である講師を指導するため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				N		
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 域	気候(熱帯) 気温( 10-40℃位)		電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)		水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)	
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)					

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(○JV ○日育 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 5 月 30 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 10 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 4 代目	●2 年	1	JOCV/SV	日系/短期等 24 年 6 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language		○1 年	2	/	
			○ヶ月	3	/	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 西部アマゾン日伯協会 (受入機関名)(英語) Japan-Brazil Association in Occidental Amazon
	2)配属先名 (日本語) (NGO)西部アマゾン日伯協会 (英語) Japan-Brazil Association in Occidental Amazon
	3)任地 アマゾナス州マナウス市 首都( ブラジリア )から 北西 方向 2,100 Km 主要都市( マナウス )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 西部アマゾン日伯協会は、マナウス市をはじめとする西部アマゾン地域(対象:アマゾナス州、ロライマ州、 Rondônia州、アクレ州)の日系社会を総括し、敬老慰安会、慰霊祭、盆踊り大会等の文化活動、日本語教育、野球大会や運動会等の体育活動を行っている。JICAはこれまでに、日系社会シニア・ボランティアを3名、海外開発青年を3名、日系社会青年ボランティアを7名派遣した実績がある。年間予算約16万米ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 西部アマゾン日伯協会が運営する日本語学校では、現地教師(新人教師が多数在籍している)の日本語能力向上や指導力のレベルアップが課題となっている。また、アマゾン西部地域に散在する各日本語学校の指導者について教授技術のレベルアップを図る必要性が高まっており、西部アマゾン日伯協会の教師のみでは広大な管轄地域を巡回指導することは困難である。こうした背景から日系社会シニア・ボランティアが要請され、前任ボランティアは精力的に巡回指導を繰り返し、日本語教育の推進を目的に音楽を通じてイベントを盛り上げた。こうした活動が引き続き求められ、後任のボランティアが要請された。
	2)期待される具体的業務内容 1. アマゾナス、ロライマ、 Rondônia、アクレ各州の日本語学校6校を巡回し、現地教師のレベルアップを図る。 2. 日本文化(習字、音楽、文芸その他)を通じての日本語教育の推進に努める。 3. 西部アマゾン日伯協会において、新人教師を対象とした指導力向上のための勉強会を開催する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、大型テレビ、電子ピアノ、コピー機、カラオケ室など

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル アマゾナス州 教師約35名(経験2~25年)生徒約1,200名 (そのうち西部アマゾン日伯協会の教師は約25名、生徒約550名) ロライマ州 教師3名(経験2~3年)生徒約100名 Rondônia州 教師2名(経験3~10年)生徒約30名	5)業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語)	6)選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	---	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験( ) ( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯 ) 気温( 10-40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 14 )

調査者名: 江川 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 8 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24年6月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language			2	
				3	

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 汎パウリスタ日伯文化協会連合会 (受入機関名)(英語) Culture Association for Japan-Brazil in Alta Paulista
	2) 配属先名 (日本語) (NGO) マリリア日本語モデル校 (英語) Marilia Japanese Language Model School
	3) 任地 サンパウロ州マリリア市 首都( ブラジリア )から 南西 方向 1000 Km 主要都市( サンパウロ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンパウロ州北西部の文化協会の連合会である汎パウリスタ日伯文化協会連合会の主な事業として日本語教育がある。マリリアにモデル校があるほか、ポンベア、ツパン、バストス、ドラセーナ、サンジョゼドリオプレットに傘下の日本語学校があり、月例教師研修会やお話大会、硬筆コンクール等が実施されている。また、連合会では秋祭り、カラオケ大会、太鼓フェスティバル、日本祭等の行事を開催している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 連合会には今までに7名のJICA日系社会シニア・ボランティアが派遣され、現地教師のレベルアップが図られてきた。若手教師の養成が迫られる中、シニアの巡回指導による直接的な指導は大きな支援であり、励みとなると評価されている。また、日系社会の世代交代が進み、日本との距離が開きつつある状況において、ボランティアの存在そのものが日本との繋がりを深めるものであり、日本語教育を通して日本の文化、習慣、伝統が継承されることが期待されている。以上の理由から、今後もシニアの継続的な協力が必要だとして後任が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日系二世、三世の日本語教師養成に協力する。 2. 連合会傘下の日本語学校7校を定期的に巡回訪問し、現地教師に指導・助言を行い、レベルアップを図る。 3. 汎パウリスタ日伯文化協会連合会傘下の日本語学校の教師からなる汎パウリスタ教師部会の総会及び研修会に参加し、教師全体の質的向上のために協力する。 4. 地域開催のイベントなどで日本文化を紹介する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、プロジェクター、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、DVDプレーヤー、日本語教材など	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 連合会会長(男性)、日本語普及部長(男性) 汎パウリスタ教師部会の会員約20名(実務経験5~15年) 傘下校の生徒数: 約150名(3~60歳、幼稚園生から上級レベルまで)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語)	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経歴(指導経歴) (3年以上) 経歴理由: 指導者層である講師を指導するため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)  
 概地 気候(亜熱帯) 気温( 5-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 23 日

要請番号( NS 303 - 11- H- 01 )

調査者名:佐藤睦美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
アルゼンチン	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851 ) 指導科目 日本語教育	○新規 ●交替 5 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1	/	24 年 6 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英) Education of Japanese Language			2	/	
				3	/	

開発課題 アルゼンチン その他 開発課題

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 在亜日本語教育連合会 (受入機関名)(英語) Centre of Culture and Japanese language in Argentina
	2)配属先名 (日本語) NGO在亜日本語教育連合会 (英語) Centre of Culture and Japanese language in Argentina
	3)任地 ブエノスアイレス市 首都( ブエノスアイレス市 )から 南 方向 0 Km 主要都市( ブエノスアイレス市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先(2010年度収入:約14万ドル、支出:約13.1万ドル)は、各地の日系団体により運営されている加盟23校に在籍する学習者を対象に、各種行事(運動会、暗唱・朗読大会、作文コンクール、スピーチコンテスト等)を実施している。特に日系子弟へは継承日本語教育を推進しており、日本語教師の資質向上のための研修会、養成講座、中級学習者指導講座等、当国における日本語学習の普及と支援を積極的に行っている。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語教師の経済基盤が不安定で、ボランティア精神に負うところが大きいと定着しにくい。また中級学習者の指導をする日本語教師が不足しているが、研修の場が少ない。配属先ではその付属組織「日本語教育センター」スタッフとともに、スクーリングや教師研修会を定期的に行っているが、ボランティアには、加盟校の日本語教師に対する研修・講座の内容検討に関しての助言を求められている。これまでの日系ボランティアは、日本語教師と日常的に接し、その資質の向上に寄与してきた。また、日本語教師以外を含め20名の日系社会ボランティアの受入実績がある。http://www.kyoren.com.ar/
	2)期待される具体的業務内容 ①『教師養成講座』『中級学習者指導講座』『夏季研修大会』実施に対する参画。 ②配属先加盟校の日本語教育の実態把握と支援。今後の対策についての助言。 (新人教師在の学校を中心に、また各ブロック別教師研修会での指導)。 ③総合的な日本語教育全般のアドバイザーとしての活動。

要請概要	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 デスクトップ型コンピュータ(Windows XP、Windows 2000 professional、office2000等)。 HDDデジタルビデオカメラ、スキャナー、プロジェクター等
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 当会加盟日本語学校教師110名(2010年現在)17歳~65歳(1世~3世)で、日本語能力試験N1~N4の日本語教師が対象。日本語、西語併用

資格条件	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )	6)選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	( )	

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許( )・性別( )性別理由: ・学歴( )( )学歴理由: ・経験(実務経験)(10年以上)経験理由:活動に不可欠 理由:活動に不可欠 理由:日本語教師に指導・助言するため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温帯) 気温( ) 0~35℃位	電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)	水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11 - H - 05 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 ソフトボール (コード 7501 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/
	指導科目 ソフトボール			2	/
	職種(英) Softball			3	/
	指導科目(英) Softball				24 年 6 月 から

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) インディアツーバ日伯文化体育協会 (受入機関名)(英語) Culture and Sport Association for Japan-Brazil in Indaiatuba
	2) 配属先名 (日本語) (NGO) インディアツーバ日伯文化体育協会 ソフトボール部 (英語) Softball Department, Culture and Sport Association for Japan-Brazil in Indaiatuba
	3) 任地 サンパウロ州インディアツーバ市 首都( ブラジリア )から 南 方向 1000 Km 主要都市( サンパウロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 200家族を超える会員を擁する本協会は、日本語学校の運営のほか、文化(カラオケ、太鼓等)、スポーツ、慈善事業などを実施し、地域における日本文化継承と青少年育成の拠点として活動している。年間事業予算は約43万米ドル。現在青年ボランティア(野球)が1名派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソフトボールは野球に比べ当国では浸透していないが、野球以上に多くの方がプレイし易いソフトボールを通じて日系社会の結束が期待されている。ソフトボールのピッチャーを指導できる人材が不足しているため、本要請に至った。コーチの育成のみならずボランティアから指導を受けることにより、選手たちが人間的に成長することが期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 現地ソフトボール指導者と協力しながら、主に以下の活動を行う。 1. 選手の父兄などが将来コーチになれるよう指導力の向上を目指した支援を行う。 2. 技術と日本的な礼節、規範意識、チームプレー等の考えに基づいた取り組み方を指導する。 3. 市内外への遠征(公式試合(大会)や練習試合)に同行し、直接指導を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 グラウンド2面、バッティング用ネット、練習場1ヶ所、バット、グローブ、ボール(各選手が所有)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: 約100名 6歳~70歳 コーチ: 選手の親がやっていることが多く、その大部分が未経験者である。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語) ( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(指導経験) (2年以上) 経験理由: コーチを育成するには自らの指導経験が必要 理由: ・競技経験 5年以上 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温( 10-35℃位) 電気(☒安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☒インターネット可 ☒通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☒安定 ☐不安定 ☐なし)
----------	--

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 12 日

要請番号( NS 309 - 11- H- 09 )

調査者名: 東 万梨花

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 ソフトボール (コード 7501 ) 指導科目 ソフトボール	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	1	/
	職種(英) Softball 指導科目(英) Softball			2	/
				3	/

開発課題 ブラジル その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) マリリア日系文化体育協会 (受入機関名)(英語) Culture and Sport Association in Marilia
	2) 配属先名 (日本語) (NGO)マリリア日系クラブ (英語) Marilia Nikkey Club
	3) 任地 サンパウロ州マリリア市 首都( ブラジリア )から 南西 方向 900 Km 主要都市( サンパウロ市 )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンパウロ州マリリア市において、日本語学校運営、スポーツ・文化イベント開催を行い、更には福祉活動を実施する日系団体。現在の会員数は1,500名(うち日系人1,200名)。同協会付属マリリア日系クラブでは、スポーツを通じて、規律正しい健全な青年を育成するための活動を続けており、青年ボランティア1名(ソフトボール指導)、シニアボランティア1名の派遣実績がある。年間予算:485千米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) マリリアでは移住開始当初から野球などスポーツを通じて、規律正しい日系子弟の育成を推進してきた。ソフトボール女子部設立は1990年。本協会ではソフトボール部の拡大を計画しており、監督・コーチ等現地指導者のレベル向上に協力出来るボランティアを要請している。また、ボランティアには技術的指導とともに規律など精神面強化のための指導も期待されている。前任ボランティアは投手力強化を中心に選手の育成に努めた。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 女子ソフトボール部に所属する児童・生徒70名(7歳~18歳)に対し、基本ルール習得レベルから大会出場レベルまで競技力が向上するよう指導する。 2. 監督・コーチに対し、基本的な指導技術や適切な練習方法、スポーツ精神を通じた選手とのコミュニケーション方法を指導する。

要 請 概 要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 野球・ソフトボール用スタジアム、野球・ソフトボール場4面、ソフトボール用器具、バッティングセンター、シャワー室
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・スタッフ: スポーツ部長(男性、50代)、ソフトボール部長・野球部長 監督(男性、40代)、コーチ(男性、30~40代) ・指導対象者: 70名(女子、7~18歳)、基本的に練習はポルトガル語。(スタッフは日本語会話を多少理解)

要 請 概 要	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) その他 (日本語 )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(競技経験)(10年以上) 経験理由: 投手育成するには自らの競技経験が必要 理由: 関係者で投球に精通した人が不足している 理由:
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)  
 概地 気候(亜熱帯) 気温( 10-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ○SV ●日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号( NS 315 - 11 - H - 01 )

調査者名: 綿引 純男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビ ア	職種 空手道 (コード 7702 ) 指導科目 空手道	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/
	職種(英) Karatedo 指導科目(英) Karatedo			2	/
				3	/
24 年 6 月 から					

開発課題 コロンビア その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) コロンビア日系人協会 (受入機関名)(英語) Colombian Japanese Association
	2) 配属先名 (日本語) (NGO)コロンビア日系人協会 (英語) Colombian Japanese Association
	3) 任地 バジェ・デ・カウカ県カリ市 首都( ボゴタ )から 南西 方向 511 Km 主要都市( カリ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1952年に設立された同国唯一の日系人協会。①日系人の親睦および現地コロンビア人との融和を図る。②日本語及び日本文化・日本武道の普及等を目的に運営されている。協会員は約50家族で130名程度。日本語学校のほか、日系人クラブ、日本武道会(柔道・空手・合気道・剣道)が運営されている。日系社会ボランティアとしては、これまで日本語教育、団体事務、生け花、柔道等で協力している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本武道会の活動として、2011年6月現在、柔道は生徒数38名、合気道32名、剣道22名、居合道他36名。空手道は、子供(5~12歳)32名、大人(13歳以上)15名、計47名を数える。指導者は3名おり、一人が三段を持って指導しているが、他は初段と一級である。2012年、カリ市南部に武道会支部を建設予定で、指導者のレベルアップおよび生徒数の増加が見込まれ、技術的支援と道場運営のアドバイスも求めている。
	2) 期待される具体的業務内容 日本武道の普及および日系人を通じたコロンビア人との交流を目的に、以下の活動を行う。 ①コロンビア人指導者3名(三段から一級)に対する指導。 ②主にコロンビア人の子供と大人に対する指導。 ③武道会支部開設に伴う、道場の運営アドバイス。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 量とフロアの道場、各1面。防具、サンドバッグ等。

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現在の指導者は30歳代、女性、松涛館流三段。 他男性2名、30歳代と20歳代、松涛館流初段と一級。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )	6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経歴( )( ) 経歴理由: ・松涛館流3段以上 理由: 3段の指導者のレベルアップを図るため 理由:		

活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候( 熱帯高原性 ) 気温( 15~32 ) °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

